

卒業論文要旨

3 種族居住モデルに基づいたボスニア・ヘルツェゴビナの民族分布の再現

1240194 井上 敬司

Reproduction of ethnic distribution in Bosnia and Herzegovina based on a three-tribe settlement model

Keiji Inoue

1992 年 3 月より、バルカン半島に位置する旧ユーゴスラビア内において、ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争が勃発した。この紛争は、大きく分けてムスリム人・セルビア人・クロアチア人の 3 種族の対立として見ることができる。

本研究では、この当時のボスニア・ヘルツェゴビナの民族分布の再現をし、3 種族におけるすみわけ現象の解析と現実社会との関連性を調べた。

モデルとしては、ボスニア・ヘルツェゴビナの民族分布を参考に 3 分割モデルを考えた。

結果としては、許容数が 3 の場合においてマス目の密度が 0.9 付近で各種族の境界部分において相関係数の上昇が止まり、減少していく現象が見られた。この結果より、ボスニア・ヘルツェゴビナは国内において民族対立の不満が常に溜まっている状態であったと考えられる。

今後は、マス目の分割をより細かなもので考え、細部の再現に取り組むことが課題として挙げられる。

